

地域における外科医療の連携について

独立行政法人国立病院機構九州医療センター（以下「甲」という。）と長崎県壱岐病院（以下「乙」という。）は、地域における外科医療の充実及び患者に対する継続的で質の高い医療提供を目的として、相互に連携するため、次の内容を取り決めましたので公表いたします。

第1（目的）

外科領域における高度医療の提供及び地域における継続的な診療体制の確保を目的として、甲及び乙が相互に連携し、患者に対して切れ目のない医療を提供する。

第2（連携の基本的考え方）

- 1 甲及び乙は、それぞれの医療機能を活かし、役割分担のもと連携して診療を行う。
- 2 原則として、外科領域における長時間かつ高難度な手術を必要とする患者に対しては、甲が中心となり診療を行い、手術後の患者については乙において継続的な診療を行う。
- 3 双方は、患者の状態に応じて適切に紹介及び逆紹介を行うものとする。

第3（術前及び周術期の連携）

- 1 甲及び乙は、術前評価や合併症管理等について、必要に応じて情報共有を行う。
- 2 患者の安全性を確保するため、周術期において適切な管理を共同で行う。

第4（術後フォローアップ）

- 1 甲は、手術後の入院管理及び退院後早期の経過観察を行う。
- 2 患者の状態が安定した後は、乙において外来診療を継続することができる。
- 3 乙は、経過観察中に異常を認めた場合には、速やかに甲へ連絡し、必要に応じて再紹介を行う。
- 4 術後合併症が疑われる場合は、甲が中心となり対応する。

第5（患者への説明）

甲及び乙は、本連携体制について患者に対し適切に説明し、安心して治療が受けられるよう配慮する。